

総合型選抜対策講座②

文教大学 国際学部 国際理解学科

(課題遂行型出願向け)
課題への取り組み方について

2022年7月17日(日)



担当者の自己紹介

久保庭 慧(くぼにわ さとし)といます。

国際学部国際理解学科の教員をしています。

国際法という法学の一分野を研究しています。特に文化遺産の問題に関心があり、ゼミでは世界遺産をテーマに学生と一緒に勉強しています。

総合型選抜対策講座のスケジュール

- 6月26日（日）課題図書を選び方・読み方について
- 7月17日（日）事前課題（感想文）の取り組み方
- 8月21日（日）プレゼンテーション資料作成のポイント
- 9月18日（日）試験当日に向けた対策について

きょうのメニュー

- 1 課題遂行型課題の確認
- 2 選んだ一冊をどう読むか～感想文作成に向けて～
- 3 感想文を書くときのポイント

1 課題遂行型課題の確認

*詳細は2023年度『文教大学入学試験要項(総合型選抜)』をご覧ください。

総合型選抜のスケジュール

2022年 9月 1日(木) ～9月 8日(木)	総合型選抜1期(課題遂行型、資格優先型)出願期間
9月20日(火) ～9月27日(火)	課題遂行型 感想文 提出期間
10月16日(日)	総合型選抜1期(課題遂行型、資格優先型)試験日 * 10月15日(土)は予備日
10月25日(火) ～11月2日(水)	総合型選抜2期(資格優先型)出願期間
11月 1日(火)	総合型選抜1期合格発表
12月 4日(日)	総合型選抜2期(資格優先型)試験日 * 12月3日(土)は予備日
12月10日(土)	総合型選抜2期合格発表

課題優先型で出願する学生は、夏休み期間に、課題図書を選び、それをしっかり読んで、課題に取り組むことをおすすめします！

2023年度国際理解学科 課題遂行型課題

課題図書(新書4冊)の中から1冊を選び、
それを読んで課題に取り組む！

感想文(2000字程度) [事前提出]

+

**プレゼンテーション資料作成 [試験当日持参]
& 発表(10分程度)**

課題

- 1) 課題図書の中から選んだ本を読み、2000字程度の感想文を書いてください。
- 2) その上で、読んだ本のテーマに関連する、もしくはそのテーマを発展させた、わたしたちが現在直面している問題（例えば日本社会が抱えている問題、世界各国が共通して直面している問題など）を具体的に取り上げたプレゼンテーション資料（パワーポイント、ポスターなど）をつくり、それをもとに試験当日発表をしてください。

以下の4つの課題図書の中から1冊を選び、課題に取り組みます。

平賀緑『食べものから学ぶ世界史——人も自然も壊さない経済とは？』

(岩波書店、2021年)[岩波ジュニア新書]

上野千鶴子『女の子はどう生きるか——教えて上野先生！』

(岩波書店、2021年)[岩波ジュニア新書]

白井恭弘『外国語学習の科学——第二言語習得論とは何か』

(岩波書店、2008年)[岩波新書]

南博・稲場雅紀『SDGs——危機の時代の羅針盤』

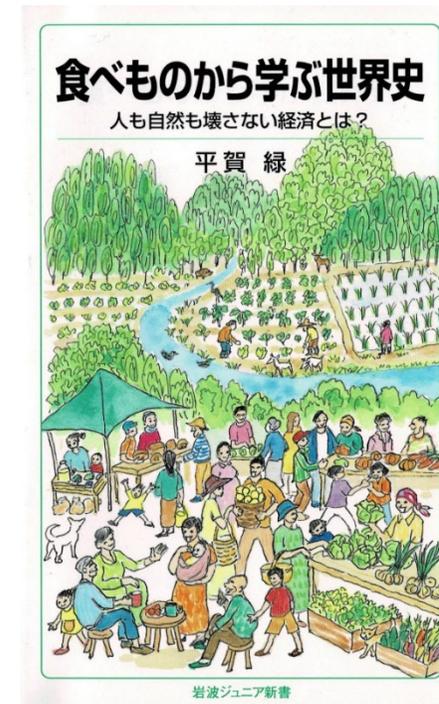
(岩波書店、2020年)[岩波新書]

* 課題図書は、書店などから購入するか、図書館から借りて読むなど、各自で入手してください。

平賀緑『食べものから学ぶ世界史——人も自然も壊さない経済とは？』

砂糖、小麦、豚肉、インスタントラーメンといった身近な食べ物やその原材料などを手掛かりに、世界経済の歴史やその仕組みについて分かりやすく説明する一冊。

グローバルゼーション、気候変動、パンデミックなどの問題も視野に入れています。



上野千鶴子『女の子はどう生きるか——教えて上野先生！』

学校、家庭、結婚、就職など、社会の中で、女の子(女子、女性)が「モヤモヤ」しているさまざまな問題について考えるヒントが溢れる内容です。

共にジェンダー平等、多様な生き方を求める男の子(男子、男性)にもぜひ手にとってもらいたい本です。



白井恭弘『外国語学習の科学——第二言語習得論とは何か』

外国語に興味がある・将来語学教員を目指したい受験生にお勧めの、
2008年出版の「古典」。

当時の大学入試センター試験に触れるなど、
やや古い情報を含むものの、ことばを学ぶ
エッセンスが詰まっています。

タイトルは硬めですが、
分かりやすい文章で書かれています。

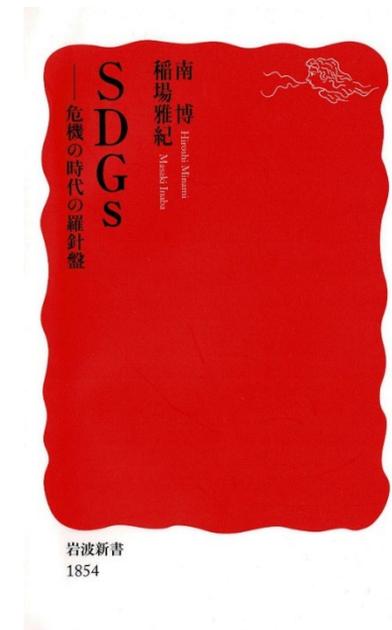


南博・稲場雅紀『SDGs——危機の時代の羅針盤』

SDGs(持続可能な開発目標)は、
現在の日本でもさまざまな取り組みが
されています。

国際学部の「学び」やほかの3冊の本の内容とも
無関係ではありません。

そのSDGsの国連で合意に至るまでの経緯、
本来の目標の意義などを、開発に関わる
専門家が整理した内容です。



本の選び方①

- ・課題図書であげた4冊は、いずれも国際理解学科で学ぶ「国際学」につながる内容をテーマにしています。
- ・課題図書の4冊のタイトルやざっくりした内容をながめながら、みなさんが文教大学国際学部で何を学びたいかをまず考えましょう。
- ・感想文はもちろん、プレゼンテーション資料作成にあたって、選んだ一冊をじっくり読み、まずその内容を理解することが求められます。そのためにも本選びはしっかり行いましょう。
- ・本のタイトルだけで判断して、インターネットで注文するという方法もありますが、おススメは本を高校や自宅近くの図書館、あるいは書店などで探して、まず手にとってページをめくってみましょう。

本の選び方②

- ・目次を見て、本の章立てを確認することは重要です、なぜなら、その本がどのようなことが書かれている本なのかという、おおよそのめやすがつくからです。
- ・著者がどのような人か、プロフィールを見て確認します。
- ・できれば、「まえがき(はじめに)」「あとがき(おわりに)」をさっと目を通しましょう。
- ・本にも相性があります。選んだ本の内容が難しい、書かれていることが、ずっと頭に入ってこないときは、ほかの課題図書も検討しましょう。

以上は私個人の意見です。

みなさんのまわりにいる「読書の達人」(家族や、学校、塾の先生など)からも、本選びの意見・助言を聞いてみてください!

2 選んだ一冊をどう読むか ～感想文作成に向けて～

本の読み方①

本の読み方はどれが正しいと決まっているわけではありません。

ただし、学習用には少なくとも3つの読み方を意識したほうがよいでしょう(英文を読む場合も同じ)。

(必要な情報を得る)「拾い読み」(Scanning)

(大まかな内容をすくう)「速読」(Skimming)

(じっくり読む)「精読」(Careful Reading)

本の読み方②

- ・最初から順番に読むのではなく、自分の関心にひっかかった、面白そうな章から読むやり方でもまったくかまいません。
- ・そもそも最初から最後まで全部しっかり読み込もうと気張ると、途中でくたびれてしまいます。まずは目次をながめて、本の大きな流れをおさえながら、少しずつ読み進めていきましょう。
- ・ひと通り読んで、著者の「言いたいこと＝メッセージ」がざっくりとでも分ければ「御の字」(しめしめ!)。よく分からなくても心配しないでください(一度読んだだけではよく分からないことのほうが多いのです)。
- ・本のテーマに関連する、もしくはそのテーマを発展させた、わたしたちが現在直面している問題(例えば日本社会が抱えている問題、世界各国が共通して直面している問題など)について急いで取りかかるよりも、まずは選んだ一冊をじっくり読むことが重要です。

平賀緑『食べものから学ぶ世界史——人も自然も壊さない経済とは？』

序章・食べものから資本主義を学ぶとは

1章 農耕の始まりから近代世界システムの形成まで

2章 山積み小麦と失業者たち
(世界恐慌から米国中心世界の成立まで)

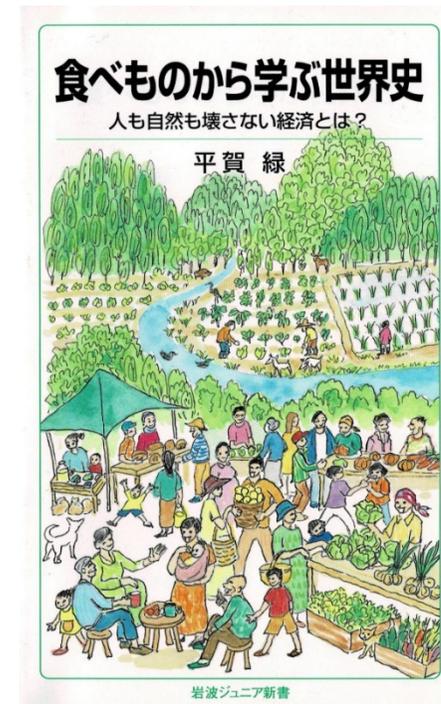
3章 食べ過ぎの「デブの帝国」へ
(戦後～1970年代までの「資本主義の黄金時代」)

4章 世界の半分が植えるのはなぜ？
(植民地支配～1970年代「南」の途上国では)

5章 日本における食と資本主義の歴史
(19世紀の開国～1970年代)

6章 中国のブタとグローバリゼーション(1970年代～現在)

おわりに 気候危機とパンデミックの時代に経済の仕組みを考え直す



上野千鶴子『女の子はどう生きるか——教えて上野先生！』

あなたたちはどう生きるか——女の子の翼を折らないために

1章 学校で、なぜ女子は男子の次？

2章 家のなかでモヤモヤするのはなぜ？

3章 リア充になるってけっこうたいへん？！

4章 社会を変えるには？

あとがき



白井恭弘『外国語学習の科学——第二言語習得論とは何か』

プロローグ

第1章 母語を基礎に外国語は習得される

第2章 なぜ子どもはことばが習得できるのか
——「臨界期仮説」を考える

第3章 どんな学習者が外国語学習に成功するか
——個人差と動機づけの問題

第4章 外国語学習のメカニズム
——言語はルールでは割り切れない

第5章 外国語を身につけるために
——第二言語習得論の成果をどう生かすか

第6章 効果的な外国語学習法

あとがき



南博・稲場雅紀『SDGs——危機の時代の羅針盤』

はじめに——危機の時代の羅針盤

第1章 SDGsとは何か

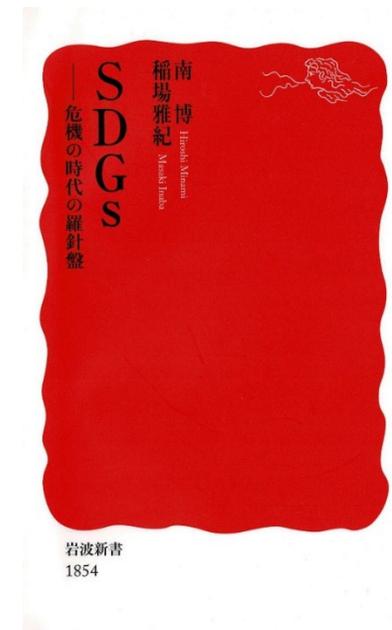
第2章 国連でのSDGs交渉

第3章 日本のSDGs

第4章 「地球一個分」の経済社会へ

第5章 2030年までの「行動の10年」

あとがき



3 感想文を書くときのポイント

書くことは、読むこと。

読んだこと以上のことは書けない。

このことをまず心得てください。

その上で、ここからいくつかのポイントをあげていきますが、あくまで取り組み方の一例です。
必ずこの通りにやらなければいけないということではありません。

本の内容を要約する

- ・感想文を書くためには、本全体を見渡す必要があります。そのためには本をしっかり読んで要約することが(例えば章ごとなどに)、遠回りに見えて一番の近道です。
- ・本を読み進めながら(あるいはひと通り読んだ後、二回目に読む時に)、興味深いと思った箇所や段落に、線を引いたり、印をつけたり、メモをとったりしましょう。
- ・疑問に思った点なども同様にメモなどを取り、読書の「痕跡」を残しましょう。そうすることが、内容を要約するための「下準備」となっていきます。

著者の説明や意見と、自分の感想や意見の「整理」を！

- もっとも、本全体を要約したり、各章ごと要約していくのは時間もかかり、かなりたいへんですよ？
- 例えば、目次を参考にして、本全体の内容をおさえつつ、自分の関心のあるテーマに焦点を絞って、そこを詳しく、丁寧に書いていくやり方もあります。
- いずれにしても、著者の説明や意見と、それに対する自分の感想、意見などをしっかり対比させておきましょう(「頭の中」が整理できます)。

文章を書くときのポイント

- ・キーワードを十分理解し、それを文章に盛り込んで、自分が「言いたいこと」の流れをつくる
- ・簡潔な文章を心がける
- ・引用を効果的に行う
- ・字数(2,000字程度)など、課題作成の指示をきちんと守る

引用の方法

間接引用(内容を要約して引用すること)

著者の文教太郎は、地元でとれた食材を地元で消費する、いわゆる「地産地消」のシステムを重視することが、私たちの「食」の安全性を確保し、生活を支える「食」と「農」のネットワークを築き、ひいては本当に豊かな地域経済をつくっていくことにつながると強調する(145頁)。

直接引用(文章をそのまま引用すること)

① ほんとうの意味での「男女平等」の実現にむけて文教花子は次のように述べる。

女性が男性と同じように強者になるということが、わたしの考える「男女平等」ではありません。弱者が安心して暮らせる社会をつくることができるよう、これまで社会的に弱い立場を強いられてきた女性ひとりひとりが、社会を変えていく行動をとっていくことなのです(54頁)。

② ほんとうの意味での「男女平等」について、文教花子は、「これまで社会的に弱い立場を強いられてきた女性ひとりひとりが、社会を変えていく行動をとっていくこと」だと強調する(54頁)。

* 文章や頁(ページ)はダミーです。引用の方法は研究分野などによっても違います。ここでは引用のイメージをつかんでもらうため、いちばんシンプルな書き方を参考までに示しました。

8月21日(日)第3回オープンキャンパス

総合型選抜対策講座③
「プレゼンテーション資料作成のポイント」

国際学部の総合型選抜(課題遂行型・資格優先型)についての質問は、
下記アドレスまでメールでお問い合わせください。
(氏名、高校名、志望学科は必ず記載してください！)

kokusai-sogo@bunkyo.ac.jp

国際学部の教員チームがお答えします。

文教大学のHPだけではなく **国際学部のHP** もぜひ見てください。

QRコード →



トップページ右上の「国際学部を受験する皆さんへ」のボタンをクリック
→ 「国際学部入試情報」のページへ

- ・受験生からよくある質問に答えた(Q&A)があります。
- ・課題遂行型対策講座の資料も同ページに掲載しています。